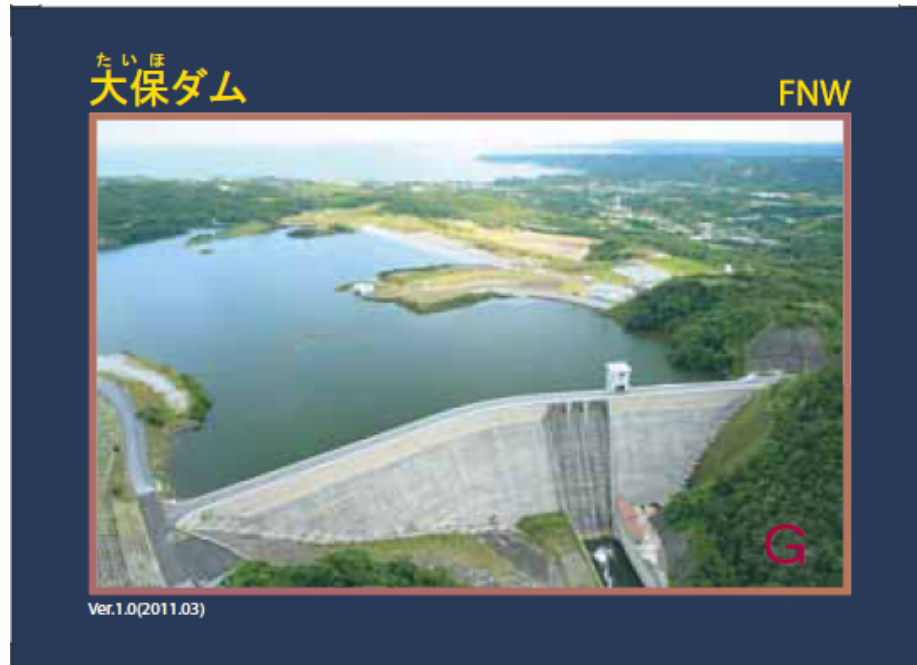


■ 大保ダムのだムカード(見本) (縦 約6cm×横 約9cm)

表



裏

DAM-DATA

所在地：沖縄県国頭郡大宜味村
河川名：大保川水系大保川
形式：重力式コンクリートダム
(脇ダム：ロックフィルダム)
ゲート：ゲートレス (自然越流方式)
堤高・堤頂長：77.5m・363.3m
(脇ダム：66.0m・445.0m)
総貯水容量：20,050,000m³
管理者：内閣府沖縄総合事務局
本体着工/完成年：2003/2011年

詳しいデータはこちら <http://www.do.ogb.go.jp/toukan/>

ランダム情報

特別天然記念物(国)に指定されているノグチゲラの保全対策として、ダム周辺森林に人工営巣木を設置し、建設期間中の生息環境を一時的に補いました。

本ダムと脇ダムの間にある半島エリアには、学習の川や身近に生物にふれあえる湿地部を整備しました。また、水没箇所にあった炭焼窯が復元されています。

こだわり技術

脇ダム堤体左側にある沢処理工は、台形CSGダムの理論に基づいて世界で初めて建設された構造物です。また、建設にあたり実用的な台形CSGダム用プレキャスト型枠を開発しました。

民間の新技術の活用として、蛇腹構造(ペローズ式)選択取水設備を共同研究し採用することで、建設コストと維持管理コストの低減を実現しました。